

夢に向かって歩む道



アクリル板を NC フライス盤で加工して作成した心さんの作品。

川

俣 高校機械科（2年）に在籍している齋藤心さん。

現在は同校機械科で唯一の女子生徒として、男子生徒とともにものづくりの勉強に励んでいます。

心さんの父は機械部品製造関連の会社勤めしており、心さんも、その影響を受けてか、小さい頃から何かをつくりたいと好きだったそうです。

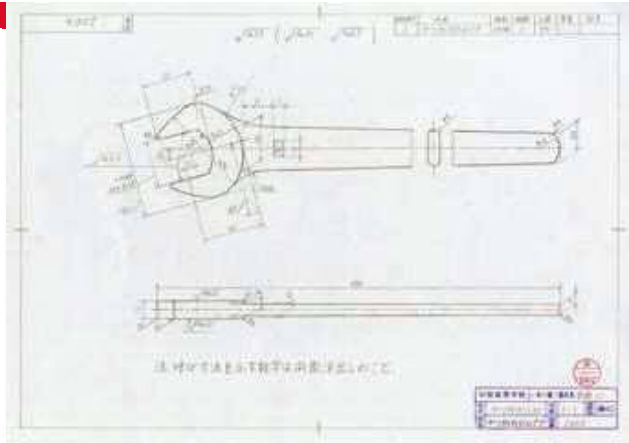
「子どもの頃は、家や風車の模型を作っていました。川俣高校の機械科に入学したのも、将来、ものづくりの仕事に携わりたいと思ったためです。私のほかに女子生徒がいないということは知っていましたが、自分で決めた道なので、特に気にはしませんでした。機械科を卒業した女性の先輩がいるので、話を聞いて、私

も自分の夢のために頑張ろうと思いました」と心さんは話します。

普段の生活において、たった一人の女性で苦勞はしないかと聞くと、心さんは「入学した当時は、男子が私に気を遣っているな、と感じることはありました。何となくよそよそしい感じがりましたが、私は気にせず、堂々と生活していました。そ

いきいきナイス・パーソン
こころ
齋藤 心さん（大綱木）





心さんが作成した製図。「細かいところまで気遣いができる性格が見えるような、きれいな製図です」と担任の菅野幸治先生。



心さんは、川俣高校機械科で唯一の女子生徒。学業はもちろん、フェンシング部フルレの選手として、川俣高校で充実した日々を送っています。

うしたら、いつの間にかそんな雰囲気も無くなっていきました」。

クラスメイトの一人として、同じ進路を志す仲間として、今では性別に関わりなく自然体で過ごしています。ですが、やはりお互いの性別を感じることもあるそうです。

「私が重いものを持っていると男子が声をかけて一緒に持ってくれたり、力の必要な作業では手伝ってくれます。私としては、男子生徒が脱いだ作業着などが散らかっていると、どうしても気になってしまったり、やってはいけないと思うのですが、片づけてしまいます」。

得意なことをお互いに。



心 さんとは中学校からの同級生です。クラスに一人だけの女の子なので、いつも気にかけている部分はあります。男子生徒が得意な重いものを持つことや、力のいる作業は、私たちが手伝ってあげるのは当然です。逆に、心さんは細かいところまで気が利くので、そういったところで教えてもらったり、いつも助かっています。クラスがうまくまとまっているのも、心さんの気遣いがあるからだと思います。これから3年生になって、みんな、それぞれの夢に向かって進んでいきますが、お互いに夢の実現に向けて頑張っていきましょう。これからもよろしくお願いします！

クラスのムードメーカーで、しっかりものの心さん。最近、高校生活の中で嬉しいことがあったのだそう。

「10月に運動会があったのですが、みんなで円陣を組むときに、自然とみんなの輪に入れたことがとても嬉しかったです。これまで以上に、本当のクラスの一員として認められたような気分になりました」。

心さんは、中学校時代にフェンシングをはじめ、現在は文武両道の学校生活を送っています。

校に入ったので、部活も勉強もしっかりとやっていきたいです。これからもこのクラスで、みんなで仲良く、充実した高校生活を送りたいです。そして、卒業するとき、みんなから自分がクラスメイトで良かったと思ってもらえれば嬉しいです」。

やりたいことができる喜び。自分の心に正直に、自然体で心さんは学業に励んでいます。

“生きていくうえで一番大切なもの” そんな願いを込めて名づけられた「心」という名前。心さんは、仲間と助け合い、励まし合いながら、一人の若者として輝きを放っています。